

## 6. 藤原純友の乱 (939年)

朝廷の命により、瀬戸内海で海賊討伐に励んでいた藤原純友は、活躍を認められない朝廷に対し不満を持ちます。そして敵だった海賊たちと仲間になり、朝廷に反乱を起こします。朝廷は東西同時に乱が起こったため恐怖に包まれましたが、平将門の乱の鎮圧後、藤原純友討伐に全力を挙げる事ができるようになったため、藤原純友は討たれました。

### 臭くて逆切れ、藤原純友の乱

939年

## 8. 保元の乱 (1156年)

院政の実権をめぐり、天皇と上皇の対立から保元の乱が起こりました。

崇徳上皇は兵をあげて後白河天皇側を攻めましたが、天皇側の源義朝、平清盛らに敗れました。

平氏はこの勝利により、さらに力を付けていく転機となったと言われています。

### キレていいころ保元の乱

1156年

ちなみに勝ったのは後白河天皇側

ゴジラと覚えよう

崇徳上皇は怨霊になったと言われたたりを恐れられていました。

## 18. 平治の乱 (1159年)

保元の乱で後白河天皇側についた人たち同士（平清盛と源義朝）のバトルです。

この平治の乱の後、平清盛が太政大臣となり、平氏政権が実現することとなります。

### 人々ご苦労平治の乱

1159年

## 11. 壇ノ浦の戦い (源平の内乱) (1185年)

1181年に平清盛が死去すると平氏は落ち目になります。

瀬戸内海周辺を西へ西へと逃げる平氏一族。押し寄せる源氏軍。ついに1185年、山口県壇ノ浦で平氏は源義経らによって滅ぼされました。

### 人々やっぱり号泣壇ノ浦

1185年